

第1回 理工系女子応援ネットワーク会議 開催報告

1 概要

内閣府は、「理工系女子応援ネットワーク会議」を開催し、52 団体が出席しました。本会議は、理工系女子応援ネットワーク参加団体が、取組事例等の情報共有やネットワーク形成により、今後の取組拡大を目指すものです。（開催日：平成28年10月21日(木)）

※理工系女子応援ネットワーク：女子生徒等の理工系分野への進路選択に向けた支援等を、主体的かつ積極的に進めている産学官の団体



2 関係省庁からの報告及び取組事例紹介

まず、内閣府から理工チャレンジ及び理工系女子応援ネットワークに関する説明を行い、続いて経済産業省から「理系女性活躍促進支援事業」について、文部科学省から「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」について説明を行いました。

次に、先進的な取組として静岡大学及び理系女子未来創造プロジェクトによる取組について報告がありました。

静岡大学からは、行政や企業を合わせて12の団体と連携体制を構築したこと、理工系分野への興味や科学的リテラシーの習熟度に関するデータを分析したうえで、理工系分野への興味拡大や将来的な仕事のイメージ形成に向けたイベント等の実施について報告がありました。理系女子未来創造プロジェクトからは、理系女子コミュニティ「RIKEJO CAFÉ」の活動事例として、女子生徒等が身近に感じる「恋愛」と化学をミックスさせたイベントの開催や普段は女子生徒等の目に触れない自動車部品メーカーが業界全体で連携してイベントを開催したことについて報告がありました。



3 取組事例情報交換等

本会議に参加した理工系女子応援ネットワーク加入団体は「夏のリコチャレ 2016」でのイベント実施をはじめとして、主体的な取組を実践しています。そこで、ネットワーク会議の後半では、グループに分かれて取組事例情報の交換を行いました。情報交換では、イベントへの参加を周知する際の工夫や苦労、女子生徒等の興味を引く企画内容について活発な意見の交換が行われました。情報交換以外にも名刺交換等により各団体の担当者同士がネットワークを形成できる時間を設け、今後の取組拡大につながる有意義な時間となりました。

